

## 学校と地域の協働実践セミナー 西北地区研修会

10月27日(木)五所川原市民学習情報センター

参加者 30名

学校と地域の協働実践セミナー西北地区研修会が、五所川原市民学習情報センターで行われました。

今回は、青森中央学院大学経営法学部教授 高橋 興 氏を講師にお迎えして、「地域の力を学校へ～地域学校協働による活動のすすめ～」と題して、地域による学校支援の流れ、地域と学校の連携・協働が必要な理由、連携・協働を実現するための課題などについてお話いただきました。

### 「地域と学校の連携・協働」が必要な理由

地域と学校の連携・協働が必要な理由として、高橋先生は次のようなことを話されました。

- ・次々と生ずる新たな課題に対して、学校と保護者、地域住民、各種団体や企業等が一体となって取り組む必要性がある
- ・地域住民による確かな学校理解の必要性 →親としての役割の再確認や家庭教育の見直しの機会
- ・学校を中核とした「地域（まち）づくり」のきっかけづくり  
→学校は多くの地域住民が格別な想いを持つ場所・施設であり、「本来、教育は学校（教職員）のみでは不可能」との認識が、地域住民にも浸透してきている

### 「連携・協働」を実現するための課題

学校と地域がこれから先、今まで以上に連携協働をしていくために、まずは**教職員の意識改革をいかに進め、成果をあげるか**が重要な課題になっていると話されました。

また、雇用形態の激変により、**ボランティアを発掘・確保**することが一層困難になってきていて、ボランティアの募集方法のさらなる工夫・改善の努力が必要だと話されていました。



### 演習「学校を支援する新たなプランを作成しよう」

後半は、グループに分かれて学校を支援するためのプランづくりを行いました。参加者は、県内で行われている学校支援ボランティアの活動例を参考に、グループで意見を出し合いながら、プランを作成しました。

#### 【グループから出されたプラン】

- 活動名「**筆まめさん**」  
ねらい 書写学習の指導補助を行う 活動内容 学習環境の整備（用具の準備、片付け）、個別指導（運筆、姿勢等）
- 活動名「**わくわく託児プラン**」  
ねらい 学校への積極的な関わりを増やし、行事に参加しやすくする。  
活動内容 音楽発表会や授業参観における託児所の開設



### <参加者の声>

- ・普段は業種を異にする参加者と演習を行うことで、様々な目新しい発見や気づきが得られ、大いに刺激になりました。（小学校教員）

### <講師紹介>



高橋 興 氏（青森中央学院大学 経営法学部 教授）

- ・青森県立高等学校校長（2校）、青森県教育庁生涯学習課長、同教育庁参事、青森県総合社会教育センター所長等を歴任して現職
- ・2016年～文部科学省コミュニティスクール推進員（CSマイスター）